

地域の実情と課題

- ・本市では、市内に本社機能を置く9割以上の企業が中小企業であり、これまで規模的にも企業単体で女性活躍の取組を行うことが困難な状況にあった。
- ・上記状況を踏まえ、まずは、事業者及び各種団体のネットワーク構築を図るとともに、女性活躍の啓発につながるイベントを開催するなど、事業者や市民の意識啓発を図った。
- ・また、市内の動きとして、平成28年度に女性自身の声を施策につなげることを目的に「あかし女性の活躍推進会議」を設置。令和3年度には、市内横断的に「ジェンダー平等プロジェクトチーム」を設置し、同チームの取組や地域のニーズ、社会情勢等を踏まえた施策を展開している。

事業の特徴

- ・女性活躍の推進を目的に、多様な主体によるネットワーク組織「あかし女性応援ねっと」を発足。同組織の活動を促進することで、市内の企業・団体における女性活躍推進の機運を高める※。
- ※交流会の開催など、会員間のネットワークを深める機会を提供するとともに、新規会員獲得にもつなげる。

事業の効果

- ・関係団体（医師会、ハローワーク、商工会議所）と連携したイベントの実現
 - ・「あかし女性応援ねっと」の加入者数増加
- 【事業連携団体数】

3団体

【個人加入者数】

119名（+16）

【団体加入数】

68団体（+1）

目的・目標

- ・「あかし女性応援ねっと」の加入者数を増やすことで、会員同士のネットワークを広げ、深めることを目的とする。
- 【目標値】事業連携団体数：

3団体

個人加入者数

：100名

団体加入数

：80団体

連携団体

- ・明石市医師会
- ・ハローワーク明石
- ・明石商工会議所

今後の課題

- ・令和7年度に発足10周年を迎えることから、この10年で大きく変容した女性活躍を取り巻く状況をみんなで考える機会を設け、会員以外の方にも気軽に参加いただくとともに、会員相互の交流やつながりを深める取組を展開していく。
- ・交流会などのイベントには、女性に限らず男性や幅広い年齢層の方に参加いただけるよう、テーマを工夫したり、広報の対象を広げたりするなどする。また、アーカイブ配信等、時間や場所に関わらず参加できる環境を整える。

事業の概要

開催報告

2024年度
あかし女性応援ねっと会員総会
あかし女性応援セミナー＆異業種交流会

■2024年7月20日(土)

■複合型交流拠点ウィズあかし フリースペース

会員総会

13:00～ 2024年度 会員総会

あかし女性応援イベント

13:30～ あかし女性応援セミナー

『自分らしく生きるを

実現するために

～ヘルスリテラシーを高めて

誰もが輝ける社会へ～』

14:30～ 異業種交流会

■参加者

会員総会 会場27名、オンライン 2名

イベント 会場50名、オンライン 5名

<アーカイブ配信>

79回視聴 (8月中限定)

セミナー

『自分らしく生きるを実現するために

～ヘルスリテラシーを高めて

誰もが輝ける社会へ～』

人生100年時代の今を知り、ヘルスリテラシーを高めて「健康寿命」を延ばすことの大切さを教えていただきました。

「健康寿命」を延ばすための健康課題には、男女差があり、また、個々のライフイベントや環境によって症状も様々で、一人ひとり異なっています。

中でも、女性はエストロゲンの影響が大きく、思春期から子育て期、更年期、老年期と、

ライフステージごとに課題は大きく変動します。

また、個人のヘルスリテラシー向上はもちろんのこと、職場においてヘルスリテラシーを向上させることで、職場環境が改善し、男性も女性もいきいきと活躍できる社会へと繋がります。

講師のお話から、数年後の自分にどんなリスクが待っているのか、そのために今できることは何なのかを考える機会を得るとともに、健康課題は一人ひとり違うことを知り、多様性を認めて助け合うことの大切さを学びました。

セミナーの内容については、あかし女性応援ねっと初の試みとして、期間限定でアーカイブ配信を実施しました。当日、ご都合がつかずお越しいただけなかった方や、育児や介護で会場に足を運べなかった方にも広く

お届けすることができました。

交流会では、セミナーでご登壇いただいた田中あゆみさんにも参加いただき、様々な分野で活躍する参加者のみなさまが、情報交換しながらネットワークを広げました。



医療法人社団吉徳会
あさきり病院
副院長 田中 あゆみ さん

交流会
ファシリテーター

あかし女性応援ねっと
事務局長 柏木 登起
(一般財団法人コミュニケーション創造協会)

総合司会



あかし女性応援ねっと
運営委員 田中 朋 高
(ハローワーク明石)

議長

あかし女性応援ねっと
代表 崎野 圭子
(株式会社 リキノ)

会員総会



議案審議では、2023年度の事業報告および収支決算について審議し、可決されました。

報告事項では、2024年度の事業計画および収支予算、運営委員の交代等について報告がありました。

事業計画については、健康をテーマとした講演会、理工チャレンジへの

協力、明石市医師会との連携事業、勉強会(テーマ未定)など実施することを報告しました。



異業種交流・意見交換会



開会あいさつ



あかし女性応援ねっと
副代表 萩野 修
(日新信用金庫)

開催報告

2024年度
あかし女性応援セミナー＆異業種交流会

セミナー

『自分らしい働き方

～「選ぶ」「選ばれる」をはずして見えてくるもの～』



講師

てしがわら まい
勅使川原 真衣 さん
組織開発コンサルタント

二児の母。2020年から乳がん闘病中。

『格差の“格”ってなんですか？無自覚な能力主義と特権性』(朝日新聞出版) ほか著書多数

「自分らしく働く」とはどういうこと？ なぜ必要なの？
「自分」を知って、自分を深掘りすること？
うまくいかないのは、「能力が足りない」から？

自分の性質や傾向を知り、環境とどのように向き合っていくかが、「自分らしく働く」ために必要な要素となります。

セミナーでは、「ありたい自分」を探り、今、置かれている環境を見つめることによって、自分がどのように反応するのかを知るワークも行いました。

自分を知り、相手(環境)を知ること。そして、自分が環境によってどのような反応を示すのかを知っておくこと。

それこそが「自分らしく働く」ことであり、自分の人生を選んでいく、舵取りをすることだと教えていただきました。

異業種交流会

参加者同士で交流会を開催しました。日々の活動についての情報交換や名刺交換などを行っている場面も見られ、日頃お話しすることがない分野の方との交流ができる機会となりました。

アンケートより

・わかりやすいお話でした。職場の人間関係に役立つと思いました。
・ワークを用い、気付かされることが多かったです。
・自分を大切にすることを軸に考えていきたいと思いました。
・環境や周りの人との相互作用という言葉が腑に落ちた。誰もが日常的に体験しているはずなのに、その視点がなければ能力や良し悪しで判断してしまう。勅使川原さんの考えが社会に広まれば、生きづらさを感じる方が減るのでは？と思いました。

■2025年2月15日(土)

■複合型交流拠点ウィズあかし フリースペース

13:30～ あかし女性応援セミナー

14:50～ 異業種交流会

■参加者

セミナー 会場 36名

オンライン 17名

<アーカイブ配信>

118回視聴 (3月末までの限定)

総合司会

瀬尾 真理子

あかし女性応援ねっと 運営委員

開会挨拶

崎野 圭子

あかし女性応援ねっと 代表

市長挨拶

丸谷 聡子

明石市長

交流会進行

柏木 登起

あかし女性応援ねっと 事務局長

開会挨拶

大澤 歩

あかし女性応援ねっと 副代表



セミナーでは「ありたい自分」を探すためのワークもありました

あかし女性応援ねっと

あかし女性応援ねっと インクルーシブ推進課